



平成 24 年 8 月 21 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ラ ン ド
代 表 者 の 代 表 取 締 役 社 長 松 谷 昌 樹
役 職 氏 名 (コード番号 8918 東証第一部)
問 合 せ 先 常 務 取 締 役 管 理 部 長 佐 瀬 雅 昭
電 話 番 号 0 4 5 - 3 4 5 - 7 7 7 8 (代 表)

営業進捗に関するお知らせ ⑳
(シニア事業における新規施設開設について)

当社グループの直近の営業進捗に関しまして、下記の通りご報告申し上げます。

記

現在、当社グループでは、首都圏、北海道（札幌）エリア、東北（仙台）エリアにおいて、有料老人ホーム「ネクサスコート」シリーズ全 11 施設を展開しております。

前期以前に開設いたしました既存 9 施設の入居率は、平成 24 年 7 月末現在で、約 98%と非常に高い水準を維持しており、また、平成 24 年 6 月に新規開設いたしましたネクサスコート愛宕（仙台市）、ネクサスコート北大前（札幌市）に関しましても、開設前から多くの反響をいただいております、早期に入居率 100%を実現すべく、役職員一丸となって、取り組んでまいり所存であります。

(1) 新規施設の開設について

この度、北海道（札幌）エリア 4 施設目となります「(仮称)ネクサスコート大通東」の開設に向け、土地所有者様と建物賃貸借に関する合意をいたしました。当該新規施設は、総室数 118 室を予定しており、当社グループのシニア住宅施設の中でも最大級の施設規模となります。

また、当社グループでは、同エリアにおきまして既に「ネクサスコート真駒内」「ネクサスコート白石南郷」「ネクサスコート北大前」の 3 施設を運営しており、各施設とも非常に高い評価を頂いておりますが、当該新規施設も札幌市の中心部に位置し、交通の利便性も高く、広範なエリアの方からの反響が期待されます。また、当該新規施設におきましても「ネクサスコート」シリーズの特長であります「24 時間看護師常勤」、「専任の理学療法士」、「ご入居者様の様々なご要望にお応えするコンシェルジュ」の配置はもちろんのこと、各種医療機関と連携をとり各種専門医の往診とターミナルケアを実現し、ご入居者様全員に充実した生活を過ごして頂くための、レベルの高いケア体制を実現し、様々なサービスをご提供してまいります。

さらに、当該新規施設の開設により、同エリアにおける営業室数が 300 室を超えることとなり、既存施設とのシナジー効果も得られることから、さらなる「ネクサスコート」シリーズの認知度の向上に貢献し、「ネクサスコート」ブランドの構築も進むものと期待しております。

当該「(仮称)ネクサスコート大通東」を含む現在計画中的の新規案件を考慮いたしますと、グループ全体で、運営室数及び入居者定員数が共に 1,000 室、1,000 名を超える見通しであります。当社といたしましても、本事業を行うことの社会的意義を自覚し、ご入居者様に「心から喜んでいただける」サービスのご提供に注力してまいります。

【(仮称)ネクサスコート大通東 施設概要】

所在地 : 北海道札幌市北区
 交通 : 札幌市営地下鉄東西線「バスセンター前」駅 徒歩 2 分
 規模 : 鉄筋コンクリート造 地上 9 階建 (予定)
 総室数 : 118 室 (一人部屋 118 室) (予定)
 定員数 : 118 名 (予定)
 開設時期 : 未定 (決定次第お知らせいたします。)

【札幌市内における当社運営施設の分布状況】



⇒ 各施設の補完性が高いため、新規施設への反響だけでなく、既存施設の入居率の維持にも期待

(2) 各施設の入居状況（平成 24 年 7 月末日現在）

既存施設

施設名	総室数	入居室数	入居率	備考
ネクサスコート本郷	97	94	97%	※
ネクサスコート本郷台	77	77	100%	
ネクサスコート真駒内	65	65	100%	
ネクサスコート練馬	62	59	95%	※
ネクサスコート多摩川桜並木	69	66	96%	※
ネクサスコート白石南郷	60	60	100%	
ネクサスコート久地	75	74	99%	※
ネクサスコート泉中央	90	89	99%	※
ネクサスコート青葉台	76	73	96%	※
既存 9 施設合計	671	657	98%	

※ 100%達成後退去（ご逝去）者が発生。現状は数名の待機者あり。

新規開設施設

施設名	総室数	備考
ネクサスコート愛宕	86	2012/6/1 開設
ネクサスコート北大前	86	2012/6/10 開設

(3) 業績への影響について

当社グループの業績に与える影響は、現在精査中であり、判明次第開示させていただきます。

当社グループといたしましては、役職員一丸となり業績の向上に努めてまいりますので、株主・投資家の皆様におかれましては、何卒一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

以上